

博慈会だより

(博慈会記念総合病院)



(正面玄関)



(老人病研究所附属病院の5階レストランから望む、
博慈会腎クリニックと東京スカイツリー)

目次

地域医療を考える	2
財団法人博慈会 博慈会記念総合病院 日本医科大学泌尿器科学教室	理事長 三瓶 広幸 院長 岡田 憲明 主任教授 近藤 幸寿
新任医師の紹介	5
泌尿器科 外科 循環器科 脳神経外科	医 長 林 達郎 医 長 寺西 重央 医 員 中野 博之 医 員 亦野 文宏
診療科だより	6
博慈会記念総合病院	部 長 福永 綾 部 長 竹中 圭 部 長 平澤 泰宏 院 長 岡田 憲明 部 長 長田 祐二 医 長 西郷 俊吾 部 長 沖野 首也 部 長 立山 幸次郎 部 長 星野 瑞 医 長 大木 孝美 医 長 村野 奈緒 部 長 飯塚 正泰 部 長 飯塚 雄俊 院 長 大沢 弘和 院 長 小倉 篤
地域との連携	14
診療科別地域連携担当医表/特殊・専門領域診療一覧表 定立区医師会疾病別ネットワーク/ごんにち「和」看護部です!	
博慈会ニュース	16
博慈会記念総合病院の耐震化整備事業による建替について 第30回合同医学集談会の開催/送迎バス運行時刻の変更 防災訓練の実施	
診療体制紹介	19
交通案内 周辺探訪/遷業後記.....	20



財団法人博慈会

厚生労働省臨床研修病院・東京都災害拠点病院
博慈会記念総合病院
 小児科救急医療24時間対応
博慈会記念こどもクリニック
博慈会腎クリニック
老人病研究所
 療養型医療施設・介護療養型医療施設
老人病研究所附属病院
博慈会高等看護学院

地域医療を考える

地域中核病院として より充実した体制づくりを

財団法人博慈会

理事長 三瓶 広幸



本年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う大津波、福島の子力発電所事故、これらの大きな災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

平成20年11月に新経営体制が確立、私が理事長に就任し、新たな船出を迎え間もなく3年が経過致します。この間、職員の意識改革は基より、病院経営の見直しを行い、先に掲げた「地域医療に徹する」、「救急医療体制の確保」、「患者様本位の高度先進医療を提供する」を強力に進めて参りました。

皆様にご理解、ご協力を頂いたそ

の結果として、専門医の充実、看護職員の増員、救急車受け入れ件数の増加、手術件数の増加などが挙げられると思います。小児から高齢者まで、幅広く総合的な医療確保と推進に努めております。

また、この度の東日本大震災はあまりにも大規模な災害のため、これまでの医療の常識では対応し切れない状況が発生しました。我々に出来る範囲で避難者の外来診療、入院治療は当然のことながら、被災者の方への住まいの提供、東京都医師会を通じての飲料水の確保・提供、そして当法人の各セクションからの義援金集めなどを実施致しました。多くの皆様のご賛同をいただき心より感

謝申し上げます。

震災・原発の復興には、かなりの時間が必要とされています。それに加え、このところの日本を襲う自然災害について、本当に安心して生活出来る場所はあるのだろうかと考えさせられます。当法人の博慈会記念総合病院は、この地域の災害拠点病院という重要な役割を果たしている施設でもあり、まさに今、東京都の医療施設耐震化緊急整備事業として、最新の構造基準に則った病院建設に本年3月より着工し、平成26年3月には完成の計画で進めているところです。

地域の中核病院として医療の中身は当然の事ながら、ハード面に於いても皆様の信頼に応えうる病院造りを行って参ります。

今後に於きましても、小児医療から急性期医療・24時間体制の救急医療・高齢者医療、人工透析、そして人間ドック・健康診断に至るまでのバランスのとれた一貫した医療を地域の皆様に提供出来るよう、努力致して参る所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

財団法人博慈会は、地域の健康を支える医療・福祉・介護のネットワークにより、充実した連携医療を提供しています



博慈会記念総合病院



博慈会記念こどもクリニック



博慈会腎クリニック



老人病研究所附属病院



老人病研究所



博慈会高等看護学院

耐震化整備事業による 新病院建築にあたって

博慈会記念総合病院

院長 岡田 憲明



旧医局駐車場(東館の南側)に4階建ての南館を建築中です。現在基礎部分が完成し、各フロアの工事に取り掛かっております。完成時は1F-放射線治療室と厨房、2F-小児科病棟、3F-薬剤科、透析室、ME機器管理室、4F-管理部門となります。さらに3Fにおいては空中歩廊を設置し、東館3Fと連結して自由に往来できる設計になっております。

博慈会記念総合病院は昭和41年に開設後、足立区、川口市ならびに近隣地域の急性期型地域基幹病院として取り組んでまいりました。老朽化に伴い平成17年に新館(東館と西館)を竣工し、東京都の災害拠点病院の指定を受けました。そしてこの度、東京都の医療施設耐震化緊急整備事業により、平成23年3月26日より南館の新築工事、中央館の解体ならびに北館の新築工事に着手いたしました。

平成26年3月の完成時には、南館と東館が空中歩廊でつながり、ベッド数306床を有する近代的な急性期病院としてスタートいたします。IT化を推進し、オーダーリングシステムや画像保存通信システム(PACS)の導入、最新の放射線治療システム(東芝エレクタシナジー)の導入と放射線機器の充実、施設の拡張と充実した設備を有するリハビリ室ならびに手術

室の新設、外来化学療法室の新設、院内売店の設置などを計画しております。

新病院に移行しても、これまでの当院の基本指針である

- (1) より専門的で高度な医療の提供
- (2) 災害拠点病院として、地域の皆様の期待に応えられる医療の提供
- (3) 多くの医療機関の先生方から、患者様を紹介していただけるような信頼される医療の提供

は堅持していく所存です。

工事期間中、医療機関の先生方や患者様にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新病院の概略と工事工程

1. 南館および空中歩廊新築工事

(平成23年4月-平成24年3月)

2. 北館1期工事

(平成24年4月-平成25年3月)

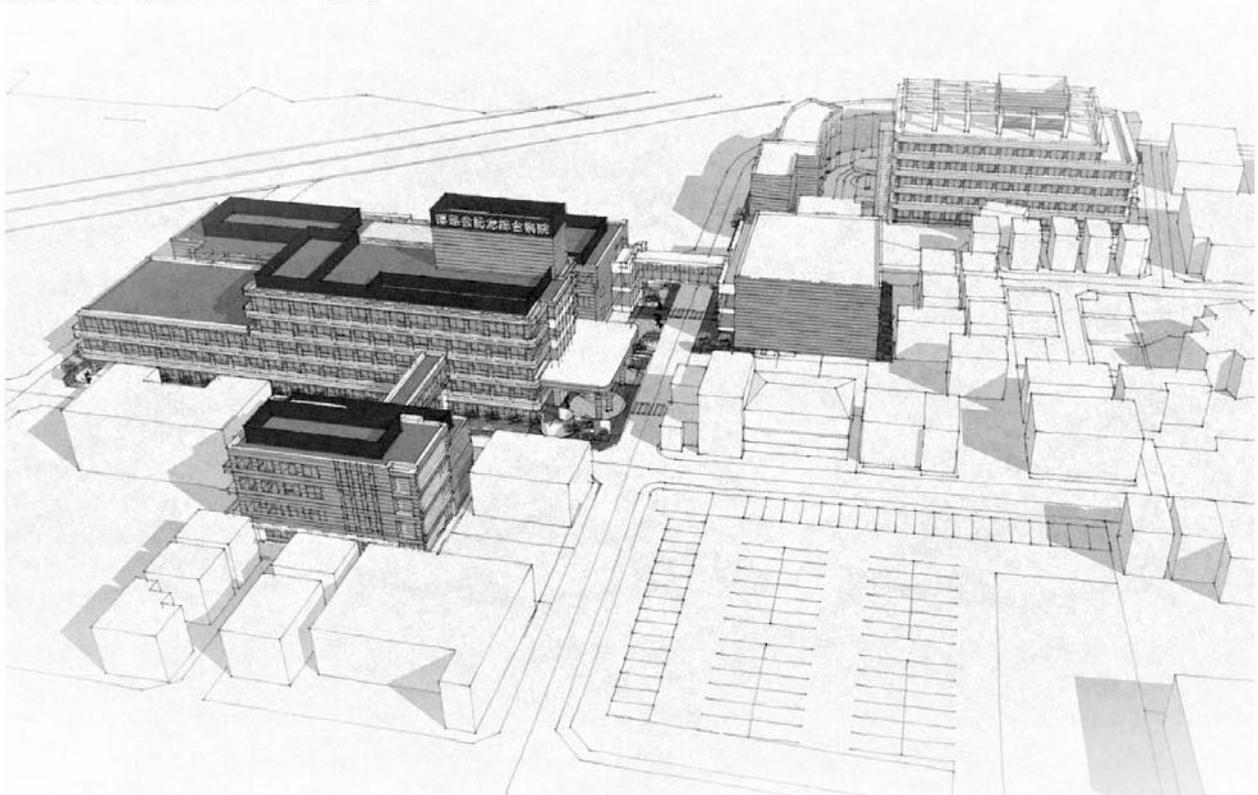
現医局駐車場に3階建ての北館を建築予定です。完成時には1F-放射線検査室、2F-手術室、中央材料室、3F-整形外科と形成外科病棟の予定です。

3. 北館2期工事

(平成25年4月-平成26年3月)

現在の中央館を取り壊して4階建ての北館を建築し、1期工事で完成した北館と連結します。完成時には1F-眼科と耳鼻科外来、内視鏡検査室、生理機能検査室、検診室、売店、2F-脳神経外科病棟、3F-整形外科と形成外科病棟、4F-リハビリ室の予定です。

完成図 (平成26年3月竣工予定)



後方病院として泌尿器科の 新体制および連携医療

日本医科大学泌尿器科学教室
主任教授 近藤 幸尋



泌尿器科は元来尿路結石から癌治療に至るまで内視鏡を中心に進歩して参りました。これらの伝統を一昨年より小職が受け継いでおりますが、前立腺癌の治療に於いては腹腔鏡下手術・放射線治療である密封小線源治療・放射線外照射など多岐にわたってさせて頂いております。また腎・尿管の手術もほとんどが腹腔鏡下手術で行っています。膀胱癌に関しては、経尿道内視鏡手術・浸潤癌の膀胱温存療法・膀胱全摘除術後の回腸を用いての代用膀胱作成など患者さんのQOLを重視した治療を展開しております。このように患者さんの満足度を上げることが、ご紹介いただいた先生方からの信頼にもつながるものと考えております。このような治療を林医師は派遣病院という立場でなく、いわゆる航空会社の共同就航便のような医療を博慈会記念総合病院で実践してくれるものと思います。

足立区での医療に於いては新人では有りますが皆様方の期待に応えられるような医療を展開させて頂く所存ですので、何とぞよろしく御願い申し上げます。

皆様こんにちは、私日本医科大学泌尿器科学教室を預かっております近藤 幸尋と申します。ここで私を紹介させていただく理由は、この9月より博慈会記念総合病院泌尿器科の診療体制が変更になったためです。8月までは猪股先生を中心に泌尿器科診療を行ってきたわけですが、猪股先生の異動に伴い医師の派遣依頼を受けておりました。しかし我々の体制が維持できない為に保留しておりましたが、何とか体制を整えまして、9月より日本医科大学より林医師が赴任することにより泌尿器科診療が変更になりました。博慈会記念総合病院は足立区の中核病院であります。また日本医科大学付属病院は足立区の痛拠点病院でもあるため、博慈会

記念総合病院の後方病院としてしっかり支えていく所存です。

林医師に関してご紹介致します。見た目は若い医師であります。日本医科大学付属病院、北村山公立病院と歴任しその間泌尿器科専門医も取得しており、手術技術も卓越しており足立区の泌尿器科疾患を任せるに値する人物と考えます。また手術に関しては当泌尿器科学教室が全面的にバックアップ致します。高度泌尿器科手術や博慈会で器械および器具等の関係で行えない手術は日本医科大学付属病院にご紹介し手術させて頂きます。

ここで日本医科大学付属病院泌尿器科の治療に関する特徴を述べさせて頂きます。日本医科大学付属病院

日本医科大学付属病院の 新病院の建設について



未来へつづく病院づくり

私たちは、いつの時代も変わることのない心通じ合う医療を、そして日本屈指の高度な医療を提供しつづけるために、新病院を建設します。

創立130周年記念事業として、平成17年に本学千駄木地区の再開発をテーマにスタートしました「アクションプラン21」は、多くの支援者の皆さまに支えられて、順調に大学棟、大学院棟、健診医療センターを竣工して参りました。そして、平成22年からは付属病院の建て替えに着手いたしました。

日本医科大学

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5
Tel: 03-3822-2131(代表)

- 地下鉄有楽町線 東大前駅下車徒歩5分又は本駒込駅下車徒歩9分
- 地下鉄千代田線 千駄木駅又は根津駅下車徒歩7分
- 地下鉄都営三田線 白山駅下車徒歩10分
- ※JR有楽町線・西日暮里・上野・御徒町駅よりタクシー使用の場合前10分



新任医師の紹介

泌尿器科・外科・循環器科・脳神経外科

泌尿器科

医長 林 達郎



平成23年9月から猪股医師の後任として泌尿器科を担当している林と申します。8月までは山形県東根市内の公立病院で泌尿器科を通じて地域医療の活動を行ってまいりました。

皆様、泌尿器科と聞いて何とも言えない他科にはない距離感を感じたことはありませんか。かつて泌尿器科は性病の一種である陰茎梅毒を診察治療することで派生したため、今でも日本人の遺伝子に性病科としての情報が埋め込まれている事から前述の距離感が存在すると思われまます。まず、泌尿器科を知ることによって距離感を縮めましょう。では現在の泌尿器科は何を行っているかという、過去とは大きな変貌を遂げ老若男女の尿路にまつわる全てのトラブルを診察しています。血液から尿を作り出す腎

臓、その尿は尿管を通過して膀胱にたまり、尿道から体外へ排出されます(男性では膀胱の下に前立腺があります)。この腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道を尿路といい、それぞれに何かの異常が生じた場合、治療する科は泌尿器科となります。良性疾患の代表として、男性であれば頻尿や排尿困難感を症状とした前立腺肥大症、女性であれば中高年の方に多くみとめられる我慢し難い頻尿を症状とした過活動膀胱の方が多く来院されるようになってきました。その他、様々な排尿の悩みも含め、内服治療等で症状改善ができる場合が多くあります。尿路に生じた悪性腫瘍(腎細胞癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌等)に対する手術療法や化学療法も泌尿器科の担当範囲となり、当科でも積極的に行っています。更に当科では毎週木曜日の午後は男性性機能不全(勃起障害等)、男性不妊症を専門に診察する特殊外来も行っています。

最後に、排尿とは精神とも大きく関連し、不安を募らせば募らせる程、考えれば考える程著明に排尿症状を悪化させることは皆様も経験されているかと存じます。原因が分かれば過度な思い過ごしであったということもあります。どんな些細な症状でも構いません。一度、距離感を取り払い泌尿器科を受診してみてもいかがでしょうか。

外科

医長 寺西 宣央



皆様初めまして。本年5月より外科に勤務させて頂いております、寺西宣央です。

日本医科大学を卒業し、消化器外科を専攻しております。前任地の会津と山形では、東北の冬の厳しさや、豪雪地帯ならではの人間味を実感した4年間でした。また、3月には東日本大地震を山形で体験しました。二日間の停電、物流のストップによる資材不足と大変な経験をしましたが、みんなの協力にて乗り越えることが出来ました。まだまだ駆け出し中ですので、毎日が勉強の連続です。先生方、スタッフの皆様にご協力いただきつつ、日々成長していけたらと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

循環器科

医員 中野 博之



初めまして。本年の7月より博慈会総合病院で勤務しております循環器科の中野博之と申します。日本医科大学を卒業し、同附属病院で2年間の臨床研修を行いまして日本医科大学付属病院循環器内科へ入局いたしました。

その後日本医科大学附属病院で循環器内科・一般内科の診療をおこなってきました。昨年一年間は東京都八丈島の病院にて一般内科診療をおこなっておりました。専門分野としては、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患や、閉塞性動脈硬化症などの診断・カテーテル検査・治療を主に行っております。当院では、心電図、エコー、ホルター心電図などのほか、核医学検査(心筋シンチグラフィ)などを行い、必要性があればカテーテルによる診断・治療を行っております。虚血性心疾患が疑われる患者様や、糖尿病・高血圧・脂質異常症・喫煙者など動脈硬化のリスクファクターを持っている方のスクリーニング検査などで、積極的に御紹介頂ければ幸いです。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

脳神経外科

医員 亦野 文宏



本年度4月に、博慈会記念総合病院に赴任してまいりました脳神経外科の亦野文宏と申します。出身は神奈川県川崎市、日本医科大学を卒業後、東京医療センター(旧国立第二病院)で初期研修を修了し、同病院で脳外科シニ

アレジデントを経て、日本医科大学脳神経外科に入局しました。

赴任して半年が経とうとしていますが、脳卒中をはじめとした救急医療はもちろんのこと脳腫瘍などの症例の多さにも驚き、立山部長のもと、日々臨床に精進しております。

まだまだ脳神経外科医としては未熟な自分ですが、丁寧な診療、説明を心がけて患者様を診療させて頂いております。地域の先生方からのご紹介も多く、いつも大変お世話になっております。脳卒中など神経疾患が疑われる患者様がいらっしゃいましたら24時間、いつでもお気軽にご連絡下さい。早急に対応させていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

診療科だより

放射線科

〔博慈会記念総合病院〕

放射線科

部長 福永 毅



当施設は、日本医学放射線学会の修練機関として認定されており、以下のようなモダリティを用いた各種画像診断・IVRおよび放射線治療を行っております。検査後には、フィルム（希望によりCD-Rでの発送も可能です）に専門医の読影所見を添付してお送りします。

CT：Philips社製Brilliance（16列MDCT）。

頭部～胸腹部のスクリーニングから、dynamicCTやCT-angio（大動脈～四肢末梢・頭頸部など）まで、様々なオーダーに対応可能です。



MRI：Philips社製Intera（1.5T）。

一般的なオーダーは予約対応となりますが、脳梗塞急性期などの緊急症例は24時間対応可能となっております。



RI：骨転移のスクリーニングやガリウムシンチなど一般的な検査から、内分泌系（甲状腺・副腎など）・脳血流・心臓など専門分野まで、幅広い領域の検査が可能です。



IVR：一般的な腹部血管造影や、肝細胞癌に対する肝動脈塞栓術、透析シャント狭窄・閉塞に対する血管形成術を主に行っております。CTガイド下での、肺腫瘍に対する肺生検・膿瘍のドレナージなども対応可能です。



放射線治療：足立区で放射線治療装置（リニアック）が稼働している唯一の施設です。

乳癌・前立腺癌・肺癌や食道癌など、適応症例がありましたら、是非ご紹介下さい。



最新鋭放射線治療装置（リニアック）導入のお知らせ

当院放射線科では長年にわたりがん治療の一翼を担ってきた放射線治療装置を老朽化の為に更新いたします。

来年春に導入予定の最新鋭の Elekta 社製放射線治療装置（Elekta Synergy）は従来の治療よりも精度の高い、放射線治療を行なうことが可能です。

Elekta Synergy導入による追加機能・トリプルX線エネルギー対応

従来の放射線治療装置では、1種類のエネルギーで全部位の治療を行ってまいりました。今回導入する Elekta Synergy は高度な加速器技術により、X線エネルギーを3種類出力することが可能になります。したがって治療部位ごとに最適なエネルギーを選択的に照射することができ、より追従性の高い治療を行なうことができます。



イメージガイド放射線治療（IGRT）対応

イメージガイド放射線治療（IGRT）とは、放射線が正確な位置に照射されているかを、X線画像やコンビームCT画像を利用して確認し、必要に応じて照射位置の修正を行うという最新、高精度な治療です。

Elekta Synergy は、この IGRT を行なうことが可能な装置であり、従来の治療以上に、照射精度の高い治療を行なうことが可能になります。



また、検査・IVRなどについてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

医療スタッフ

堀内淳一（顧問）／日本医科大学客員教授、日本医学放射線学会専門医、日本人間ドック学会認定指定医、第8回日本放射線腫瘍学会会長
福永 毅（部長）／日本医学放射線学会専門医

診療科だより

呼吸器科・循環器科

呼吸器科

部長 竹中 圭



当科は入院については常勤医3人、外来については常勤医3人に加え、日本医科大学呼吸器内科の非常勤医2人により、呼吸器疾患全般に対応できる体制で診療に当たっています。いずれも呼吸器学会専門医の認定を受けている医師であり、施設としても、日本呼吸器学会関連認定施設、ならびに日本呼吸器内視鏡学会認定関連施設の認定を受けております。

特に肺癌については、化学療法に加え、放射線科と連携し放射線治療を行う足立区内では唯一の施設になっています。加えて外科的切除の対象となる場合には、日本医科大学呼吸器外科ならびに帝京大学医学部呼吸器外科

と連携し、スムーズな転院が行える体制をとり、全ての肺癌患者に対応できるようになっています。

また最近増加傾向にある、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎についても、診断から進行期における在宅酸素療法、在宅人工呼吸器を含めた治療にも対応しています。慢性呼吸不全の患者に対しては、リハビリテーション科と連携し、呼吸リハビリテーションも行っております。

医療スタッフ

竹中 圭(部長) / 日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医

篠田欣也(部長補佐) / 日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医

榊原桂太郎(医長) / 日本呼吸器学会専門医、日本内科学会認定内科医

循環器科

部長 平澤 泰宏



高齢化社会となった昨今、循環器領域の疾患は非常に増加しています。高血圧をはじめ、狭心症や心筋梗塞などの心筋虚血、閉塞性動脈硬化症、頻脈や徐脈の不整脈など様々な疾患が外来では見受けられます。当院では、動脈硬化に伴い閉塞した血管をカテーテルによって広げる専門医や不整脈を専門とする医師などバランスのとれた医師によって日常診療を行っています。特に胸痛や胸部不快感を症状とする心筋虚血に対しては、積極的にカテーテル治療を行っており、昨年はカテーテル検査435件、カテーテル治療を167件行い、これらの疾患を治療致しました。また、近年は下肢の動脈閉塞も多く、同疾患に対しても必要性があれば積極的にカテーテル治療を行っており、昨年は51件のカテーテル治療を行っております。下肢の動脈に狭窄が認められる患者の約4割に心臓を養っている血管(冠動脈)の狭窄が認められることから、歩行時に下肢のしびれや痛みなどが認められる方は一度外来へご紹介ください。

また虚血性病変ばかりでなく、当院では不整脈専門の医師も常勤のため、頻脈性不整脈に対しても積極的にカテーテルによる治療(カテーテルアブレーション)を行っています。もちろん薬物療法で治療も行っていますが、不整脈に対する薬物療法は非常に難しく、訓練をうけた医師でなければ治療は困難を要します。頻脈に限らず徐脈など不整脈でお困りの方がいらしたら、是非外来へ御紹介ください。

医療スタッフ

小川 剛(健康管理センター長) / 日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会評議員、心臓機能障害指定医

田中邦夫(筆頭副院長) / 日本内科学会認定内科医・指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本集中治療医学会関東甲信越地方会評議員、日本心血管インターベンション学会指導医・関東甲信越地方会評議員

平澤泰宏(部長) / 日本内科学会認定内科医、日本循環器学会専門医

中野博之(医員) / ー

乾 恵輔(医員) / ー

診療科だより

糖尿病内分泌科・血液内科・消化器科

糖尿病内分泌科・
血液内科

院長 岡田 憲明



糖尿病・内分泌内科

日本内分泌学会や日本糖尿病学会の専門医による甲状腺疾患や糖尿病を中心とした外来を行っております。糖尿病患者さんは1000名以上通院され、インスリン治療も300例を超えております。管理栄養士による食事指導も積極的に行っております。

最近のトピックスとしてDPP-IV阻害剤の内服、ピクトーザやバイエッタの自己注射の導入も行っており、数多くの患者様がSU剤から離脱できております。

合併症の早期発見、早期治療を心がけており、定期的な尿中アルブミン、眼底検査、神経伝導速度、頸動脈超音波やABIなどの検査を行うとともに、循環器内科、眼科、腎臓内科、形成外科、整形外科と連携し、必要に応じてPCI、人工透析、光凝固などの治療を行い、また各種の壊疽治療も可能な体制を整えております。

インスリン導入による治療も随時可能であり、緊急性の高い糖尿病性ケトアシドーシスも積極的に受け入れております。インスリン導入は基本的には入院にて行っておりますが、外来においても可能な場合がありますのでご相談ください。今後は糖尿病専門ナースや糖尿病療養指導士の育成を行っていく予定です。

以下のような症例がありましたら是非とも御紹介をよろしくお願いいたします。

1. 急激な発症で空腹時血糖やHbA1cが非常に高値を呈している症例（ケトアシドーシスやケトアシドーシス症例を

含む)

2. 各種治療を行うもHbA1c>8%でコントロールが困難な症例
3. 合併症を呈している症例
 - ・尿中蛋白陽性や血清クレアチニン上昇症例、・網膜症の存在、
 - ・コントロール不良な末梢神経障害(しびれ、疼痛など)や壊疽症例、
 - ・心電図で虚血性心疾患が疑われる症例やASOが疑われる症例

内分泌疾患は、特に甲状腺疾患（パセドウ病、甲状腺機能低下症、甲状腺腫瘍など）ならびに副腎疾患を中心に内分泌専門医による診療、治療を行っております。疑い症例やたまたま行った腹部CTで副腎の偶発腫が認められた症例でも結構ですのでご紹介いただければ幸いです。

血液内科

現在は木曜日の午前と午後、日本医科大学の血液内科の医師により外来診療を行っております。軽症な疾患については当院での入院治療が可能ですが、白血病などの重篤な疾患につきましては日本医大に紹介入院の形をとっております。将来的には常勤医（派遣）による診療体制を予定しております。

足立区の医療機関の中には血液疾患を扱える医療機関は少なく、これまで他区の大学病院や公立病院に紹介するケースが大多数と思われます。足立区内での医療を完結することを1つの目標としており、血算の結果値で異常値を認めたり、日常診療においてお困りの症例がございましたらご紹介をお願いいたします。

医療スタッフ

岡田憲明(院長) / 日本医科大学客員講師、日本内分泌学会認定内分泌代謝専門医

小野瀬裕之(医員) / 日本内分泌学会認定内分泌代謝専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会認定医

消化器科

部長 長田 祐二



平素より患者様の御紹介を頂きありがとうございます。私ども消化器内科は岡田院長をはじめ5名の常勤医、月、火曜日に大腸内視鏡を担当いただく非常勤2名、木曜日に上部内視鏡を担当いただく非常勤1名で診療にあたっております。

当院は日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設に認定され医師の教育にも貢献できる施設となっております。

内視鏡的治療においては、胃においてESDを症例を限定して行っております。胆膵疾患におきましては各種ステントの挿入、総胆管結石の治療とし内視鏡的乳頭切開またはバルーン拡張術を行っております。(胆嚢結石合併例においても外科でそれほど待機日数なく腹腔鏡下胆嚢摘出術を行うことができます。) 大腸においてはポリープに対するEMRを月、火曜日中心に行っております。

肝疾患におきましては肝臓専門医療施設に認定されB型、C型肝炎の治療を中心に患者様のニーズのお答えできるようまた、先生方の御期待にお答えできますように研鑽に

励んでおります。近日中にプロテアーゼ阻害剤の保険認可がなされる予定です。1型、高ウイルス量の未治療例や前治療で再燃された患者様に対しても治療効果が期待できそうですので認可された際には御紹介のほどよろしくお願いいたします。

HCCの治療におきましてはラジオ波焼灼療法、TAE (TACE) によるIVR、外科による肝切除が可能です。

放射線科による放射線療法も可能で食道癌の化学放射線療法や転移癌などに対する緩和治療も可能です。適応のある患者様がいらっしゃいましたらぜひとも一度御紹介もしくはお気軽にお問い合わせいただければと存じます。

医療スタッフ

岡田憲明(院長) / 日本医科大学客員講師、日本内科学会認定総合内科専門医、日本内科学会認定内科指導医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医

長田祐二(部長、医局長) / 日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医

滝保彦(部長補佐) / 日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医

鈴木健司(医長) / 日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医

濱本達彦(医長) / 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医

診療科だより 腎臓内科・外科

腎臓内科



医長 西邨 俊吾

腎障害はごくごくありふれた疾患です。CKD(chronic kidney disease慢性腎臓病)と診断された患者様(慢性的に何らかの腎障害を呈している患者様)は成人の約10人に1人、約1330万人はいると言われています。さらに腎障害が進行し透析となってしまった患者様は、年々増加しており、国民の約500人に1人、約30万人もいます。

CKDの診断は

下記の片方または両方が3カ月以上持続することにより診断する

①腎障害を示唆する所見(検尿異常、画像異常、血液異常、病理所見など)の存在

②GFR 60 mL/分/1.73 m²未満

によります。

透析をしている患者様は腎障害が進行し、残念ながら末期腎不全になってしまった訳ですが、末期腎不全を防ぐためにも、早期にCKDを診断し治療を行なう必要があります。もし、診察中の患者様で、上記の症状に当てはまる患者様がいらっしゃいましたら、お気軽に遠慮なく

当院にご紹介下さい。

当院では、CKDの患者様の診断・管理・治療を、初期から末期、透析導入も含め、一貫して行なっています。また、CKDの患者様は心筋梗塞や脳梗塞の発症リスクが高いだけでなく、いろいろな分野の疾患を併発するリスクが非常に高い(だからこそ、CKDの治療が重要なのですが)一こともよく経験されていることと思います。当院では各専門分野の先生方と綿密に連携し、腎障害だけでなく、患者様の疾患をトータルで管理する体制を整えております。

さらに、腎障害を呈する疾患はCKDだけではありません。CKDなどの慢性疾患だけでなく、急激な進行をする腎障害、AKI(Acute Kidney Injury急性腎障害)に関しても積極的に治療を行っています。急性な経過をとる腎障害は生命予後が非常に悪く、早期から集中治療を行うことが大切です。こちらも、原因精査、治療、より高次の病院への紹介を含め対応しております。

最後に、腎臓の病気は、ある程度、病状が進行してしまうと、もとは戻りません。そのため、早め早めに診断し治療することがとても大事です。繰り返しになりますが、何かご心配、ご相談ごとがございましたら、遠慮なく、受診もしくはお声をかけていただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

医療スタッフ

西邨俊吾(医長) / —

外科



部長 沖野 哲也

当科は経験年数の長い5名の日本外科学会専門医で診療を行っております。消化器疾患を中心にチーム診療を行い、鼠径ヘルニア、乳腺や急性虫垂炎や腸閉塞などの救急患者の緊急受け入れもしております。

早期胃痛、早期大腸癌、胆石症や脾腫瘍に対しては腹腔鏡を用いた低侵襲手術、進行癌に対しては手術治療と共に、放射線治療や抗瘍剤治療なども行っております。いつでもご紹介頂ければ迅速に対応致しますのでよろしくお願い致します。

昨年(平成22年)の年間手術件数は368件です。

腹腔鏡下手術は69件(胆石55件、胃9件、大腸5件)。

症例	開腹	腹腔鏡	合計
胃痛(切除)	31	9	40
上部消化管その他	6	0	6
結腸癌(切除)	28	5	33
直腸癌(切除)	24	0	24
下部消化管その他	24	0	24
胆石	8	55	63
肝・脾	10	(PD:4,DP:2,肝切:4)	10
食道	1	0	1
イレウス	10	0	10
ヘルニア	76	0	76
虫垂炎	58	0	58
肛門疾患	8	—	8
乳腺	8	—	8
その他	7	—	7
計	299	69	368

医療スタッフ

吉安正行(名誉院長) / 日本医科大学客員教授、日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会指導医・専門医、身体障害者認定医(膀胱、直腸)

吉村和泰(副院長) / 日本医科大学客員講師、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医

沖野哲也(部長) / 日本外科学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
寺西宜央(医長) / 日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医
近藤亮太(医員) / —

診療科だより

脳神経外科・整形外科

脳神経外科

部長 立山 幸次郎



私が、最初に赴任した2005年当初は、救急対応、脳卒中が主体でした。現在は、救急疾患と共に予防的手術、脳腫瘍、機能外科と脳外科疾患を広く扱っております。24時間緊急対応し、緊急手術も可能です。また、様々な先生方にお世話になり、地域連携にも力を入れております。脳卒中は時間との勝負であると言われ、脳神経症状が疑われる場合は、お気軽にご連絡下さい。

今回は、脳卒中と未破裂脳動脈瘤につき簡単に説明させていただきます。

脳卒中（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）

通常、突然の半身麻痺、構音障害、めまい、複視、頭痛等で発症します。いずれも急性期での症状の増悪が予後に最も影響します。脳梗塞診断では、頭部MRI、MRA、脳血流検査等が重要で当院では、24時間これらの検査を行う事ができます。

近年、脳ドックの一般化や診療でMRIが多用され、偶発的に頭蓋内外の異常が指摘されるようになりました。未破裂脳動脈瘤は、破裂した場合クモ膜下出血になる事が多く、しばしば突然死や重い後遺症を残します。脳ドック学会より予防的手術を行う基準、ガイドラインが作られました。未破裂脳動脈瘤の破裂率については、報告では年間0.05%から数%と様々でしたが、近年日本で行われた大規模臨床試験により大体1%/年とされました。これにより70歳以下で5mm以上の大きさであれば手術適応とされています。ただし、10年経過しても10%弱の破裂の可能性ですから必ず手術しなければいけないものではありません。また、未破裂脳動脈瘤を診断された患者様は、その不安によりうつ傾向に成りやすいと言われています。正しい説明を受けることが重要です。当科では、開頭手術、血管内手術ともに可能です。術中神経モニタリングを全例に行い高い安全性を保っています。

地域機関病院脳神経外科として地域の先生方からお気軽にご連絡いただけるよう心掛けています。宜しくお願い致します。

医療スタッフ

立山幸次郎(部長) / 日本脳神経外科学会専門医
亦野文宏(医員) /

整形外科

部長 星野 瑞



当科は、4名の常勤医と日本大学整形外科医局より非常勤医師により構成されております。

当科の主な検査、医療設備

- 手術室(クリンルーム)、手術用顕微鏡、関節鏡、MRI、RI(骨シンチ、放射線治療法)
- 神経伝導検査、脊髄電気刺激療法、リハビリテーション(入院、通院)、骨密度測定器

特色

年間手術件数は、慢性疾患、外傷を含めて400件以上行っております。

- (1) 脊椎変性疾患、脊椎腫瘍、脊椎外傷に対して、各症例に応じた手術を幅広く行っております。

症例によっては、術中モニタリングを行い、安全に手術を行っております。

さらに、椎弓形成術や椎弓切除術の際に、超音波骨メスを使用しており、手術の安全性・確実性を図っております。

また、当院における最小侵襲手術は顕微鏡下で行っております。各種神経ブロックも症例に応じて行っております(硬膜外ブロック、神経根ブロック、交感神経ブロック、星状神経節ブロック等)。

また、難治性神経因性疼痛に対しては、脊髄電気刺激療法を施行しています。

難治性の慢性腰痛や膝関節痛に対しては、麻薬の貼

布剤による鎮痛も行っています。

- (2) 股関節、膝関節変性疾患に対しては、適応を充分検討し人工関節手術(THA, TKA, UKA)や骨切り術(白蓋回転骨切り術、高位脛骨骨切り術)を行っております。人工関節術は、低侵襲手術を行っております。
- (3) スポーツ外傷(膝、肩、肘等)に対しては、症例に応じて手術療法を行っております(靭帯再建術、関節形成術、関節鏡等)。
- (4) 骨腫瘍、軟部腫瘍に対しては、専門の医師による診断、治療を行っております。
- (5) 末梢神経障害に関しては、神経伝導検査を行い、診断・治療を行っております。
- (6) 手術の際には、症例により自己血輸血を行っております。
- (7) 糖尿病壊疽等の難治性潰瘍に関しては、症例によりマゴットセラピーを行っております。
- (8) 平成22年4月より、外来通院専門のリハビリテーション室を新設し、入院リハビリテーションと併せて充実した治療を行っております。
- (9) 外傷の分野では、とくに高齢者の大腿骨頭部骨折に関しては、既往に内科的合併症と伴うことが多く、術後の下肢深部静脈血栓症の発生も散見されるので、内科と併診して安全に手術が行えるように心がけています。

医療スタッフ

星野 瑞(部長) / 日本整形外科学会認定医、日本整形外科脊椎脊髄病医、整形外科スポーツ医、整形外科リウマチ医、麻酔科標榜医、東京都身体障害者診断医
山崎秀興(部長補佐) / 日本整形外科学会認定医、整形外科学会リウマチ医
谷口久樹(医長) / 日本整形外科学会認定医、整形外科リウマチ医
池見佳一郎(医長) /

診療科だより

形成外科・眼科

形成外科

医長 大木 琴美



形成外科とはどんな分野か・・・それは、体表の外科・皮膚の外科ととらえて頂くともわかりやすいかもしれません。博慈会記念総合病院形成外科では、患者様のニーズや価値観を重んじ、機能面のみならず整容面（見た目）をも重視した治療を心がけております。一般形成外科として、顔面や手足の外傷（切り傷・削げた傷など）や顔面骨折（ほほ骨や鼻骨骨折など）、やけどなどの外傷に対応しています。また巻き爪、母斑（ホクロ）、脂漏性角化症（いぼ）、粉瘤（おでき）、などの良性腫瘍に対して小手術を行っています。皮膚・皮下腫瘍でも、脂肪腫などやや大きいものや深いものは、全身麻酔下での摘出手術も行います。いわゆる皮膚癌に対しては再建を考慮した摘出術を計画いたします。やけどは、新鮮例（比較的狭い範囲の症例に限る）から、慢性例（昔のやけどの跡によるひきつれ、つっぱり）まで対応しています。

また、特殊な治療として、ケロイド・肥厚性瘢痕（きずあとの盛り上がり）に対して、切除術+術後電子線照射療法を含めた集学的治療を行います。顔面骨折では

3D-CTにより術前後の立体的な評価を行います。その他、瘢痕拘縮（ひきつれ）の修正手術、治りにくい傷や潰瘍に対しては保存的治療として局所陰圧閉鎖療法（VAC® therapy）から外科的治療（植皮や各種皮弁など）にて対応をしています。耳前瘻孔・副耳、多合趾症などの先天奇形なども対応可能ですのでご相談下さい。より高度な治療が必要な場合などでは大学病院（主に日本医科大学形成外科）の医師とタイアップ、あるいは、適宜ご紹介させて頂いています。

また、毎週火曜日午後は予約制で美容外科外来を開設しております。光治療（フォトフェイシャル）専用の機器Mediluxによって、お肌のきめ・くすみや質感の改善、お化粧ののりの改善などを実感されるのではないのでしょうか。何かございましたらご相談下さい。

医療スタッフ

大木琴美(医長) / 日本形成外科学会専門医、熱傷専門医



眼科

医長 村野 奈緒



当科は現在2名の常勤医師、2名の視能訓練士にて診療を行っています。主な疾患は白内障、緑内障、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症等の網膜硝子体疾患、眼瞼下垂・内反症等の眼瞼部疾患などで、これらを中心に幅広い疾患への対応を心掛けています。

昨年、眼底3次元画像解析装置（OCT）を導入し、加齢黄斑変性症のような黄斑部疾患の評価はもちろんのこと、緑内障の評価にも使用し、より早期の段階で緑内障を発見し、治療を開始できるようになりました。

また、今年度より抗VEGF抗体であるアバスタンの硝子体注射の注射を開始し、血管新生を伴う疾患や網膜浮腫をきたす難治性の疾患（血管新生緑内障、網膜静脈閉塞症、

糖尿病黄斑症など）に積極的に行い、良好な結果を得ています。

手術は、白内障、網膜硝子体、眼瞼手術を主に行っており、白内障および網膜硝子体手術は、より侵襲の少ない小切開手術（白内障手術は2.2もしくは2.4mm切開、網膜硝子体手術では23ゲージ手術）で行い、手術の安全性を高めています。白内障手術は、患者様をお待たせし、大変ご迷惑をおかけしていましたが、今年度より手術日を増やし、1か月以内には手術ができるようになりました。また、適応のある患者様に乱視用眼内レンズを使用し、良好な成績を得ており、多焦点眼内レンズもご希望の患者様に施行しています。

これからも地域の皆様に頼りにされる眼科でありたいと願っています。

医療スタッフ

富川節子(副院長) / 日本医科大学客員講師、眼科専門医、日本眼科学会会員、日本眼科手術学会会員

村野奈緒(医長) / 眼科専門医、日本眼科学会会員、日本眼科手術学会会員

診療科だより

歯科口腔外科・博慈会記念こどもクリニック

歯科口腔外科

部長 岩瀬 正泰



歯科口腔外科

当科は地域の歯科開業医との連携を密に、原則として一般歯科治療を行わずに口腔外科専門施設として機能しております。当科は総合病院に属し、基礎疾患を有する患者様にも全身状態を十分留意して、適切に診療致します。更に、専門性の必要な疾患には大学病院や病専門病院と連携をはかり、高次医療の提供を行っています。当科は、厚生労働省の歯科医師臨床研修指定病院に認定され、日々歯科臨床の向上および教育にも積極的に取り組んでいます。

歯科口腔外科最前線

デンタルインプラント

喪失した歯は、義歯、ブリッジあるいはインプラント（人工歯根：チタン製で直径3～5mm、長さ8～15mmの円柱状）により、回復を図ります。インプラントはブリッジや義歯と異なり、天然歯の状態により近い機能と形態が得られ、また周囲の歯の削除や負担を回避できます。当科では予め顎骨のCT検査を行い、骨質および骨量を確認し、安全なインプラント埋入手術の施行を心がけています。更に、インプラント治療は自費診療ですが、適正な治療

費を設定しております。

口腔痛

口腔痛の発症は、増加傾向を示しています。口腔は視診や触診が容易な臓器でありながら、口腔痛の予後は決して良好ではありません。口腔痛患者の多くは、初診医療機関で長期に経過観察や誤診による抜歯などで治療時期が遅れることも少なくありません。「気になる」や「疑わしき」口腔粘膜疾患患者がおりましたら迅速な生検や画像診断を行い適切に対処致します。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）

睡眠時無呼吸症候群は、循環器科が検査（終夜ポリグラフィ；PSG）および診断を行っています。当科では軽度および中等度のSAS症例に、下顎を前方位へ誘導して気道拡大を促すマウスピース療法（健保適応）を導入し、有用性が確認されております。

ドライマウス

近年、向精神薬服用者や高齢者においてドライマウスを主訴に来院する患者様が増加しております。当科では口腔ケアの実践および指導、カンジダ症検査、保湿剤療法などを行い、シェーグレン症候群が疑われる症例では、眼科や内科スタッフと連携して診断および加療を致します。

医療スタッフ

- 岩瀬正泰（部長）／日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、歯学博士、鶴見大学非常勤講師、昭和大学兼任講師
- 伊藤 迪子（医員）／
- 曾布川貴弘（研修医）／
- 菊田 徹（非常勤医員）／日本矯正歯科学会認定医

博慈会記念 こどもクリニック

博慈会記念総合病院

小児科 部長 飯塚 雄俊



平成20年の夏より田島剛院長と2名体制で診療を行っております。連携大学や他施設の小児科の先生たちのご支援にて救急体制を維持しております。昨年は750人余りの入院がありました。

現在入院施設は中央3階病棟に20床の病床がございます。今後は現在建設中の病棟に移動する予定になっております。新病棟は同じ20床ですが、全部で9部屋で構成されており、多種の疾患に対応しやすいように設計されております。

外来は博慈会記念総合病院と博慈会こどもクリニックの2カ所で診療を行っております。基本的には一般外来は午前中のみで博慈会こどもクリニックで行い、博慈会記念総合病院は午前以外の救急対応のみ行っております。専門外来は一部を除き午後予約制で行っております。分野により診療場所が異なりますので、ご注意ください。専門外来ご希望の場合、初診時は一度午前中の一般外来の受診をお願いしております。

【一般 外来】午前9時から12時まで

博慈会記念こどもクリニック

- 月曜日：飯塚 雄俊（栄養消化器）
- 萩田 佳織（神経）
- 火曜日：田島 剛（感染症）
- 笠神 崇平（循環器）
- 水曜日：飯塚 雄俊（栄養消化器）
- 百村 芽衣（アレルギー、膠原病）

- 木曜日：中山 栄一（感染症）
- 林 美佳智（感染症）
- 金曜日：飯塚 雄俊（栄養消化器）
- 泉 陽一（内分泌）
- 土曜日：田島 剛（感染症）
- 椿 英晴（アレルギー）
- ※（ ）内は専門分野

【専門 外来】午後2時から（予約制）

博慈会記念こどもクリニック

- 月曜日 予防接種外来（田島）
- 木曜日 予防接種外来（中山）
- 乳児検診（飯塚）
- 金曜日 アレルギー外来（田島、百村）
- 土曜日 腎臓外来（中村）※
- ※腎臓外来のみ午前中の診療となっております（午前9時から12時まで）

博慈会記念総合病院

- 火曜日 心臓外来（萩原）
- 水曜日 神経外来（仲本、金子）
- 心理外来（斉藤、藤田）

医療スタッフ

- 田島 剛（院長）／帝京大学医学部非常勤講師、日本小児感染症学会理事、日本小児感染症学会評議員、日本小児科学会代議員、日本小児科学会予防接種・感染症委員会委員、日本小児科学会専門医、日本小児感染症学会運営委員、日本感染症学会専門医、日本感染症学会指導医、日本感染症学会評議員、日本化学療法学会評議員、東京都足立区感染症の診査に関する協議会委員、ICD（インфекションコントロールドクター）認定医、社会保険特別審査員
- 飯塚雄俊（部長）／日本小児科学会専門医

診療科だより

博慈会腎クリニック・老人病研究所附属病院

〔 博慈会
腎クリニック 〕

院長 大沢 弘和



博慈会腎クリニックは平成9年3月に設立され、14年にわたり近隣の医療機関及び住民の皆様方のご支援により地域医療に貢献してきました。博慈会記念総合病院の関連診療施設として36ベットを有する人工透析クリニックです。

月曜日から土曜日の人工透析と、月・木・土曜日に腎臓内科診療を行っています。

当院では透析患者様の様々な合併症に的確に対応できるよう必要な検査を行い、データに基づいて各患者様に最適な、きめの細かい対応を行っています。また隣接する博慈会記念総合病院の医療技術を活かし、緊急時にも速やかに対応できる体制になっております。必要に応じてCT・MRI・脳血流SPECT・消化管ファイバー

などの高度な検査・治療を行える点や合併症により専門診療科への対応や入院も行っている点などが、大きな特色となっています。通院が困難な透析患者様のため、自宅前から当クリニックまでの送迎を行っております。（※車椅子仕様車も運行）お食事は博慈会記念総合病院の栄養士による手作りのものを提供し、温かみのある、患者様側に立った透析室を心がけています。

当院では最新の透析機器を導入し、透析治療を行っています。通院されている患者様の尊厳を守る心のこもった医療を目指し、スタッフ一同、日々努力してまいります。

より幅広い医療サービスの提供を今後も目指して参りますので、私達ベテランの透析スタッフにお気軽にご相談ください。

〔 老人病研究所
附属病院 〕

院長 小倉 篤



先ずは、東日本大震災の被災地・被災者のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて老人病研究所附属病院は昭和51年8月に設立、平成14年12月にリニューアルを図り、156床の完全型療養病床（医療保険104床・介護保険52床）として、長期療養に対応可能となりました。慢性期の老人医療を中心に取り組んできましたが、介護療養病床をめぐるのは、平成18年の医療制度改革関連法により廃止期限が平成24年3月末に予定されていましたが、高齢者の医療必要度は相変わらず高く、当面廃止は行われなくなりました。ここ数年、介護士・看護師離れが深刻な状況となっておりますが、当院は看護師25：1、介護士25：1の基準を下げず、今後も博慈会記念総合病院と連携をとりつつ、万全の医療、看護、介護体制で患者様の満足する療養型病院を維持していく所存でございます。外来診療は、一般内科、泌尿器科、もの忘れ外来、リハビリテーション科を行っています。特にもの忘れ外来は平成21年12月に始まって以来、

高齢化社会ということも相まって、確実に受診数が増えています。また認知症の患者様については、昨年12月に「家族の会」を発足しました。患者様だけでなく家族同士の交流により、認知症というものに対しどのように関わり理解していくか、情報の共有を図る会として充実したものになってきています。外来、入院、その他、詳細やご質問は、お気軽にご連絡ください。今後も地域に貢献する医療に邁進してまいりますので、皆様の変わらぬご支援を頂戴いたしたく、心からお願い申し上げます。



地域との連携

診療科別地域連携担当医表

患者様のご紹介やご相談がありましたら、下記の担当医にご連絡ください。担当科が不明な場合は、内科系は竹中医師、外科系は星野医師にご連絡ください。

【院長】 岡田彰明 【筆頭副院長】 田中邦夫 【副院長】 田島 剛、富川節子、吉村和泰 【診療統括責任者】 内科系：竹中 圭、外科系：星野 瑞 平成23年10月1日現在

診療科	責任者	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
呼吸器科	部長：竹中 圭 部長補佐：篠田欣也	篠田欣也	竹中 圭	竹中 圭	竹中 圭	竹中 圭	竹中 圭	篠田欣也	竹中 圭	篠田欣也	竹中 圭	竹中 圭	竹中 圭
消化器科 循環器内分注科	部長：長田祐二 部長補佐：滝 保彦	滝 保彦	岡田彰明	長田祐二	長田祐二	長田祐二	滝 保彦	滝 保彦	長田祐二	滝 保彦	滝 保彦	長田祐二	長田祐二
血液内科	-	-	-	-	-	-	-	了徳寺 剛	岡部雅弘	-	-	-	-
循環器科	筆頭副院長：田中邦夫 部長：平澤泰宏	平澤泰宏	中野博之	田中邦夫	田中邦夫	田中邦夫	乾 直晴	中野博之	乾 直晴	平澤泰宏	平澤泰宏	平澤泰宏	平澤泰宏
腎臓内科	腎クリニック院長：大沢弘和 院長：西郷俊吾	大沢弘和	西郷俊吾	西郷俊吾	西郷俊吾	西郷俊吾	大沢弘和	大沢弘和	西郷俊吾	西郷俊吾	大沢弘和	大沢弘和	大沢弘和
放射線科	部長：福永 敏(検査・診断)	福永 敏(検査)	-	-	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)	福永 敏(検査)
小児科	副院長：田島 剛 部長：飯塚雄俊	田島 剛	飯塚雄俊	飯塚雄俊	飯塚雄俊	田島 剛	田島 剛	飯塚雄俊	田島 剛	田島 剛	飯塚雄俊	飯塚雄俊	飯塚雄俊
外科	副院長：吉村和泰 部長：沖野哲也	吉村和泰	沖野哲也	沖野哲也	吉村和泰	吉村和泰	吉村和泰	吉村和泰	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也	沖野哲也
脳神経外科	部長：立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎	立山幸次郎
整形外科	部長：星野 瑞 部長補佐：山崎秀興	星野 瑞	池男佳一郎	池男佳一郎	谷口久樹	谷口久樹	山崎秀興	山崎秀興	池男佳一郎	池男佳一郎	池男佳一郎	池男佳一郎	池男佳一郎
形成外科	部長：大木琴美	大木琴美	-	大木琴美	秋山 真 (手術)	秋山 真 (手術)	大木琴美 (手術)	大木琴美 (手術)	大木琴美	-	大木琴美	-	大木琴美 (第4 -)
泌尿器科	部長：林 達郎	白井将文	白井将文	林 達郎	林 達郎	林 達郎	白井将文	白井将文	白井将文	-	-	-	林 達郎
眼科	副院長：富川節子	富川節子 (検査)	(手術)	伊藤由紀子	(手術)	伊藤由紀子	村野奈緒	村野奈緒 (検査)	(手術)	村野奈緒	村野奈緒	富川節子	富川節子
皮膚科	部長：恩田周太郎	恩田周太郎	-	-	恩田周太郎	恩田周太郎	-	-	恩田周太郎	-	-	-	-
麻酔科	部長：小倉 忍	小倉 忍	非常勤医	非常勤医	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	小倉 忍	非常勤医	非常勤医
歯科・口腔外科	部長：岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	伊藤由紀子	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰	岩瀬正泰

*放射線治療については、放射線技術部の酒井 修技師長にお問い合わせ下さい。

※救急当番医あてにご連絡ください。

特殊・専門領域診療一覧表

博慈会記念総合病院	
第2内科(消化器科)	肝臓病(長田・滝)
第3内科(循環器科)	不整脈・カテーテル焼灼術可能(平澤) 睡眠時無呼吸(乾)
放射線科	放射線治療(癌内、肥満) 血管内手術・カテーテル治療(福永)
整形外科	脊椎、人工関節、腫瘍、末梢神経、 スポーツ、リウマチ
形成外科	しみ・しわ、ケロイド・さすあと、顔面外傷
歯科・口腔外科	インプラント、腫瘍、口腔顎顔面外傷
健康管理センター	人間ドック(日帰り、1泊、各種オプション)

老人病研究所附属病院	
内科	物忘れ外来・脳血流評価(核医学検査)可能(福生)
泌尿器科	男性不妊、ED(白井)
博慈会腎クリニック	
腎臓内科	血液透析、腹膜透析(大沢)
博慈会記念こどもクリニック	
小児科	健診、予防接種、 心臓、腎臓、神経、心理、喘息・アレルギー

当院が世話を担当している足立区医師会疾患別ネットワーク

疾患別	代表世話人	当院世話人
脳卒中ネットワーク (地域連携バス運用中)		博慈会記念総合病院 脳神経外科部長 立山幸次郎
呼吸器(肺腫)ネットワーク (地域連携バス運用中)		博慈会記念総合病院 呼吸器科部長 竹中 圭
循環器ネットワーク (循環器フォーラム開催中)	博慈会記念総合病院 健康管理センター長 小川 剛	博慈会記念総合病院 筆頭副院長 田中邦夫
大腸骨頸部骨折ネットワーク (地域連携バス運用中)	博慈会記念総合病院 整形外科部長 星野 瑞	
認知症ネットワーク(研究会) (板橋区、練馬区と連携構築中)		博慈会記念総合病院 老人病研究所 所長 榎生吉裕
認知症(ADMS) (ADMSとして活動中)		博慈会記念総合病院 院長 岡田彰明
C型肝炎 (東京都の重点疾患として展開中)	博慈会記念総合病院 院長 岡田彰明	博慈会記念総合病院 消化器科部長 長田祐二
大腸癌 (区検診の一環として活動中)		博慈会記念総合病院 外科部長 沖野哲也
ピロリ菌 (ペプシンゲン検診の発表、モデル検診)		博慈会記念総合病院 院長 岡田彰明
地域連携担当委員会	事務局 博慈会記念総合病院 地域連携科	

こんにちは「和」 看護部です！



看護部長
二嶋 好枝

地域に開かれた病院として、皆さまに心もった質の高いサービスをご利用いただけますよう、看護部は新しく生まれ変わりました。職員の一人ひとりが互いの気持ちに寄り添えるよう「和」の姿勢をもって新体制づくりに励んでいるところでございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

住み慣れた地域で必要なときに治療・看護を受けられ、ご不便のないよう体制を強化しております。皆さまの想いにしっかり寄り添える看護部で在り続けたいと思います。

患者さまやそのご家族が住み慣れた地域で健康を支えることができる安心と優しさにあふれる看護を実践していきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



看護副部長
三浦加代子



看護副部長
青柳 訓子

地域の皆さまへ 信頼される病院となるために・・・

- * 患者さまの声をきちんと受けとめられるよう、サービス向上に努めてまいります。
- * 患者さまの想いにしっかり寄り添えるよう、人材育成に努めてまいります。
- * 患者さまの願いに真摯にこたえられるよう、業務改善に努めてまいります。

各フロアーからのごあいさつ



三輪 良美
褥瘡管理担当
(西2・主任)

明るさと笑顔で患者さまに安らぎを感じて頂き治療に専念できる環境を整えていきます。



渡部 真貴
教育担当
(東2・師長)

皆様の不安な気持ちに寄り添い無事に退院できる支援をスタッフ全員で心掛けていきます。



北村 千恵
臨床指導担当
(西3・師長)

私達は「安心感のある療養環境を提供し共に治療する姿勢」を大切に看護を実践しています。



関山 昭子
業務改善担当
(東3・師長)

「今、私達、頑張っているナースです。」地域の皆様に頼っていただけるよう笑顔で頑張ります。



江良 みどり
業務改善担当
(東4・師長)

心からの笑顔と誠意で患者さまに対応させていただけるよう、職員一同心がけてまいります。



浦山 美奈子
医療安全担当
(東5・師長)

患者さまの不安・苦痛に寄り添い温かい看護の提供に努め生活に密着した退院指導に心がけていきます。



水越 玲子
臨床指導担当
(中央3・師長)

患者さまとご家族が安心して療養して頂けるよう心のもった対応を職員一同心掛けて参ります。



榎本 ひとみ
記録推進担当
(中央4・副師長)

「優しさ」「思いやり」を持って笑顔をお見せし患者さま・ご家族に信頼されるよう努めます。



土田 久美
院内感染担当
(手術室・師長)

明るい笑顔、元気な挨拶で患者さまの不安を癒せるよう心がけていきます。



佐藤 幸枝
サービス担当
(外来・師長)

地域の皆様が安心と満足の得られる医療・看護を笑顔で提供していきたいと思っております。

博慈会NEWS

博慈会記念総合病院は、近代的な急性期病院として平成26年3月より新たに生まれ変わります!!

■平成17年4月に完成した西館と東館

病院全景（東側／正面入口）



病院全景（北側／救急入口）



外来診療

常に患者さま第一の基本姿勢で、各医科大学と連携を図り21科の専門外来を設置し、心のこもった高度な医療を提供しております。医師会をはじめ、近隣の病院、診療所との地域連携を密にして、地域の基幹病院としての役割を担っております。東京都指定の休日・全



博慈会記念総合病院正面入口

夜間診療事業実施医療施設として、専門医（内科系、外科系、小児科）による24時間救急医療体制で救急患者さまにも対応しております。

また、予約診療システムを導入し、スムーズな診療と待ち時間の短縮に努めております。



待合ホール

救急外来

入院診療

入院されている患者さまが快適に生活していただけるように、コミュニケーションを大切にしています。そのため、ナースステーションはいつでも気軽にお声をかけていただけるオープンタイプになっています。また、食事や寝具など療養環境に心を配り、病棟全体の明るい雰囲気づくりや、人間的なあたたかな心のふれあいを大切にしています。さらに、安心して治療に専念していただくため、いたわりと愛情のある診療・看護に努め、患者さまが一刻も早く健康を回復して社会復帰ができるように、スタッフ一同万全な医療体制で取り組んでいます。



個室



病室（4床室）

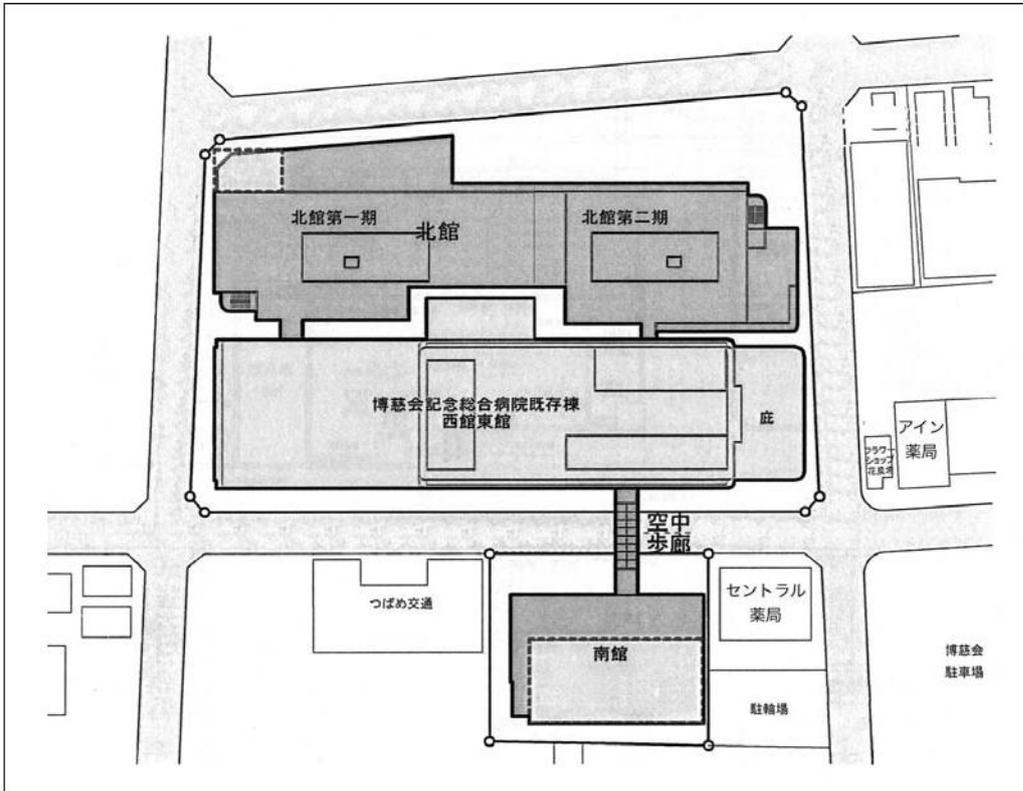


ナースステーション

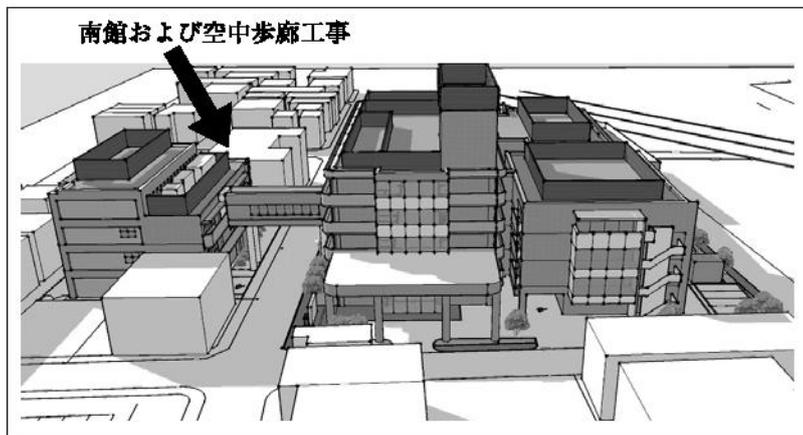


談話室

東京都の医療施設耐震化緊急整備事業として 平成23年3月より、新病院の建設工事を着工いたしました。



平面図 (全体図)



■南館および空中歩廊新築工事 (平成23年4月～平成24年3月)

平成23年度内に、それまで職員の駐車場であった南側の敷地に南館（4階建て）が完成いたします。
この南館を平成17年に完成した東館と空中歩廊でつなぐことにより、1つの病院として機能を拡充させたいと考えています

■北館1期工事

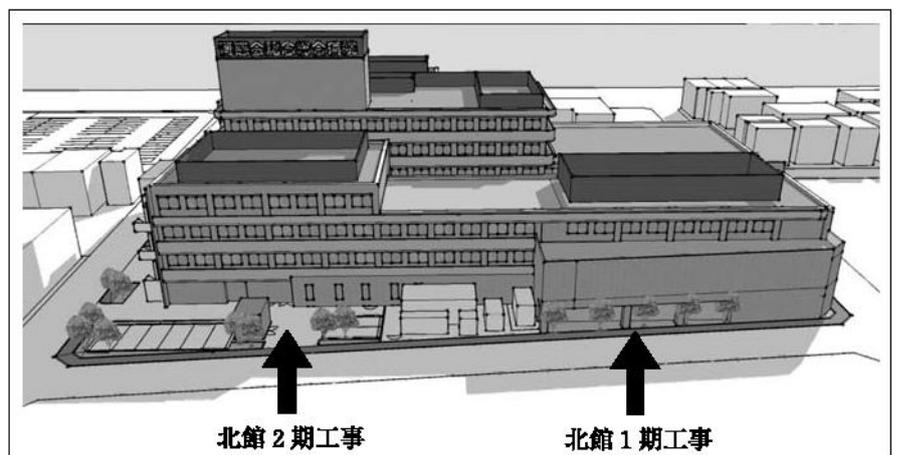
(平成24年4月～平成25年3月)

平成24年度内に、職員駐車場として利用していた敷地に北館（3階建て）を建築いたします。

■北館2期工事

(平成25年4月～平成26年3月)

平成25年度内に、現在の中央館を取り壊して4階建ての北館を建築し、1期工事で完成した北館と連結いたします。



第30回合同医学集談会 開催

平成23年11月12日(土)の午後2時から、竹の塚地域学習センターにおいて「博慈会記念総合病院、博慈会記念こどもクリニック、博慈会腎クリニック、老人病研究所、老人病研究所附属病院、博慈会高等看護学院」による、第30回合同医学集談会を開催いたします。

今回は、一般演題が6題、地域連携セッション1題、老人病研究所優秀論文1題の発表を予定しております。さらに教育講演が1題、特別講演として、全国社会保険協会連合会(全社連)の渡邊阿治先生に「有害事象を経験した医療者へのケア」について、ご講演をいただきます。また、集談会終了後は、ご講演いただいた先生方を囲んで懇親会を開き、参加者ともども意見交換を行う予定です。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



防災訓練の実施

9月15日(木)に防災訓練を実施いたしました。今回の訓練内容は、去る3月11日の東日本大震災が発生した時の状況を教訓に、夜間に駿河湾沖を震源とした震度5以上の地震発生を想定として、地震防災訓練と火災訓練を行いました。



送迎バス運行時刻の変更について

平成23年10月3日(月)から、赤羽駅方面と川口駅方面の運行時刻が変更となりました。



赤羽駅方面

病院発	赤羽発着予定	病院着予定
7:00	7:53	8:15
8:35	8:50	9:15
10:35	10:50	11:15
12:35	12:50	13:15
13:35	13:50	14:15
15:35▲	15:50▲	16:15▲
17:30	17:45	18:10

川口駅方面

病院発	川口発着予定	病院着予定
9:35	9:50	10:15
11:35	11:50	12:15
14:35▲	14:50▲	15:15▲
16:35▲	16:50▲	17:15▲

西新井大師西駅經由西新井駅方面

病院発	西新井大師西駅発着予定	西新井駅発着予定	西新井大師西駅発着予定	病院着予定
7:20	7:20	7:53	★7:58	8:15
8:35	8:35	8:50	9:00	9:15
9:35	9:43	9:50	10:00	10:15
10:35	10:43	10:50	11:00	11:15
11:35	11:43	11:50	12:00	12:15
12:35	12:43	12:50	13:00	13:15
13:35	13:43	13:50	14:00	14:15
14:35▲	14:43▲	14:50▲	15:00▲	15:15▲
15:35▲	15:43▲	15:50▲	16:00▲	16:15▲
16:35▲	16:43▲	16:50▲	17:00▲	17:15▲
17:30	17:38	17:45	17:55	18:10

▲……土曜日は運休

■ 運行時刻変更箇所

診療体制紹介

平成23年10月1日現在

厚生労働省臨床研修病院・東京都災害拠点病院
博慈会記念総合病院

〒123-0864 足立区鹿浜5-11-1
TEL: 03-3899-1311(大代表)
http://www.hakujikai.or.jp E-mail info@hakujikai.or.jp

外来診療は日曜・祝祭日は休診となります。なお、急患は24時間いつでも受付をしております。
(内科系・外科系・小児科担当の医師が常時院内待機しております。)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
第1内科(呼吸器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第2内科(消化器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第3内科(循環器)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
第4内科(糖尿病)	午前8:00~12:00	△	△	○	△	△	○
	午後1:30~4:00	△	△	○	△	△	○
第5内科(神経内科)	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
内科総合外来	午後1:30~4:00	○	○	○	○	○	△
放射線科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
精神神経科	午前8:00~12:00	△	△	△	△	○	△
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	○	△
眼科	午前8:00~12:00	○	△	△	○	△	○
	午後1:30~4:00	△	○	○	△	○	△

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
小児科(特殊外来)	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
整形外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科	午前8:00~12:00	○	○	○	△	△	△
	午後1:30~4:00	○	○	○	△	△	△
皮膚科	午前8:00~12:00	○	△	△	△	△	△
	午後1:30~4:00	○	△	△	△	△	△
形成外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	△	●	△	△	△	△
歯科口腔外科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	○	○	○	○	○	△

※○は一般外来、△は予約および特殊外来です。 ※記念総合病院の初診受付は、午前は8:30から、午後は1:30から受け付けております。
※歯科口腔外科の午後の診療は救急と往診が中心になります。 ※形成外科の外来は午前中です。火曜日の午後は美容外科(●印)です。
※精神神経科☆は、再診の患者さまのみの受付となります。

博慈会腎クリニック

〒123-0864 足立区鹿浜5-5-18
TEL: 03-3856-7011(大代表)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
腎臓内科	午前8:00~12:00	○	△	△	○	△	○
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
血液透析	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	○	△	△	○	△	○

※△は予約および特殊外来です。 ※透析は、祝祭日も行っています。

小児科救急医療24時間対応

博慈会記念こどもクリニック

〒123-0864 足立区鹿浜5-14-8
TEL: 03-3897-1311(大代表)

療養型医療施設・介護療養型医療施設

老人病研究所附属病院

〒123-0864 足立区鹿浜5-13-7
TEL: 03-3899-7011(大代表)

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
一般内科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	△
泌尿器科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△
もの忘れ外来	午前10:00~12:00	△	△	△	△	△	△
リハビリテーション科	午前8:00~12:00	△	△	△	△	△	△
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△

※△は予約および特殊外来です。

外来診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
小児科	午前8:00~12:00	○	○	○	○	○	○△
	午後1:30~4:00	△	△	△	△	△	△

※△は予約および特殊外来です。

特殊外来のご案内(予約制)

- 博慈会記念総合病院
(小児科) 心臓外来…火曜日午後 心理外来…水曜日午後
神経外来…水曜日午後
(内科) 足立区健診・特定健診等…事前にご予約をお願いします。
就職時、証明のための健康診断…診療時間内常時
※就職時の健康診断は、午前は混み合うため午後をおすすめします。
- 博慈会腎クリニック 腎臓内科…月・木・土曜日午前
腹膜透析…木曜日午後
- 博慈会記念こどもクリニック 予防接種……………月・木曜日午後
乳児健診……………木曜日午後
アレルギー外来…金曜日午後
腎臓外来……………土曜日午前
- 老人病研究所附属病院
(泌尿器科)リプロ(不妊・性機能) 外来…木曜日午後
(もの忘れ外来)…火曜日午前

関連施設

- 老人病研究所
- 博慈会高等看護学校

健康管理センター案内

- 人間ドック
日帰りコース・1泊2日コース
脳ドック・肺ドック・歯科・
口腔外科ドック
- 事業所健診
地域事業所の職員の方を
対象に行っております。
ご予約・ご相談のお電話
お待ちしております。
フリーダイヤル
0120-311-100



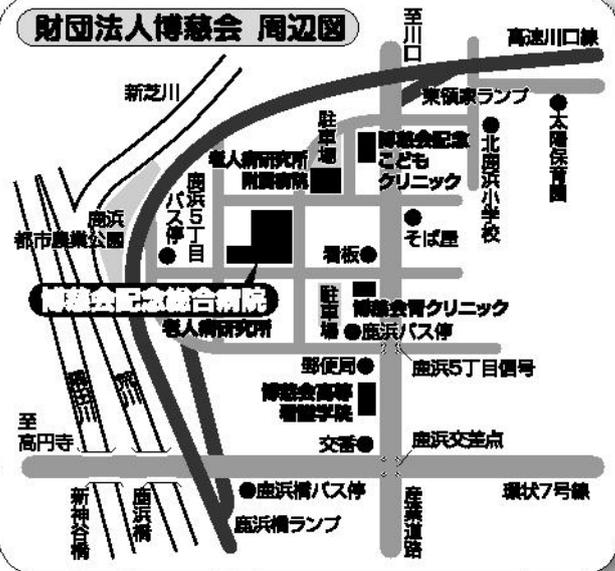


表紙写真

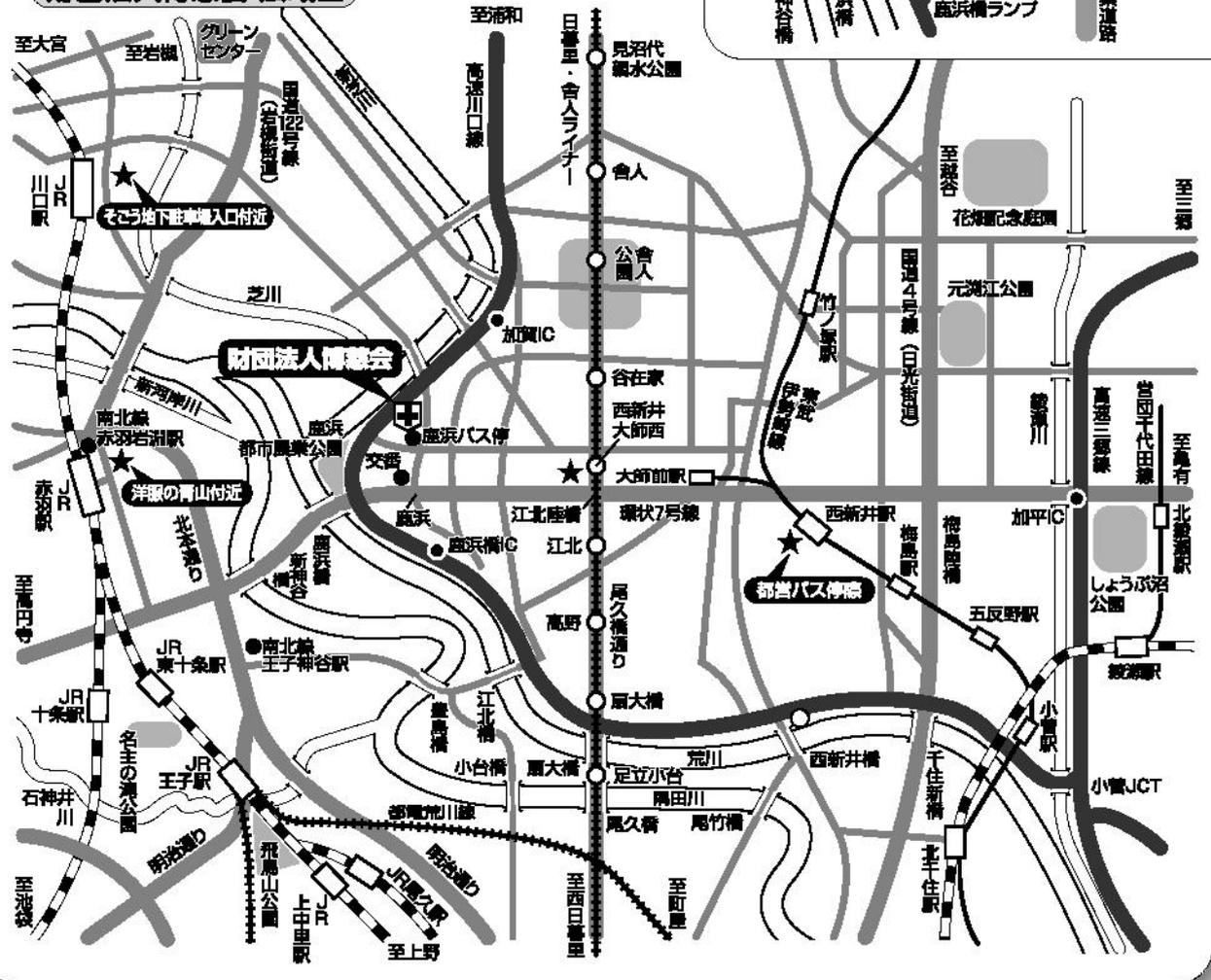
老人病研究所附属病院の5階レストランから望む、博慈会腎クリニックと東京スカイツリー

東京スカイツリーは、地上デジタル放送に向け、新しい電波塔を求められたことがきっかけで建設され、五重塔を建設した古来の技術と現在の最新技術を駆使して建築されました。高さは、かつて「武蔵の国」と呼ばれた名称にちなみ「634m(むさし)」の高さを誇り、その地域を見渡すことのできる展望台が備えられています。新しい地上デジタル放送・通信時代の中核として、また災害時の情報拠点としての機能が期待されています。2012年春にはオープンされるようですので、皆様もぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

財団法人博慈会 周辺図



財団法人博慈会 広域図



交通案内

- 東武伊勢崎線「西新井駅」、都営日暮里舎人ライナー「西新井大師西駅」より、鹿浜都市農業公園行バス、または赤羽駅東口行(荒川大橋経由)バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「赤羽駅」東口、東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅」より、西新井駅行(荒川大橋経由)バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「川口駅」東口より、鹿浜・領家循環バスで「鹿浜」下車、徒歩1分。
- JR線「王子駅」北口より、足立区役所行または千住車庫行バスで「鹿浜橋」下車、徒歩15分。
- お車
西新井及び王子・赤羽方面から車で来院される方は、環状七号線・鹿浜交差点を「川口」の側道に従って曲がり、信号4つ目の先(看板あり)を左折が便利です。なお、当院には150台分の有料駐車場があります(1時間100円)。
- 送迎バス/博慈会記念総合病院と東武伊勢崎線「西新井駅」、日暮里舎人ライナー「西新井大師西駅」、東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅」、JR線「赤羽駅・川口駅」(駅構内には入りません)との間にて無料送迎バスを運行しています。病院へ来られる方は、どなたでもご利用いただけます。尚、日曜・祝日の運行はありませんので、ご了承ください。(★乗り場目印)

編集後記

現在、博慈会記念総合病院では、耐震化整備事業による建築工事を行っています。工事期間中は大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、診療は平常どおりの体制で行っております。次号は1月頃の発行を予定しております。

「博慈会だより」第29号 平成23年11月1日発行
財団法人 博慈会 博慈会だより編集委員会
東京都足立区鹿浜5-11-1
TEL: 03-3889-1311 (代表)